

R5年11月26日（日）・29日（水）

# 「大地の再生講座」 @吉野運動公園

## 実施しました

### 大地の再生とは？

風の動きにならって草刈りや剪定をしたり、地中に穴を開けたりして、水・空気の流れを改善する手法です。草木が元気になる、人にも心地よい環境づくりをめざし、子どもから大人まで、できる人ができる作業をします。吉野運動公園では、土が固く、木の成長不良が懸念されていたため、今回、初めて実施しました。

### 2日間で17名(のべ29人)以上が参加



講師は、大地園芸代表、大地の再生士の兼田 汰知（かねだたいち）さん。

2日間で、基本的な考え方や視点、環境改善の方法を、感覚をたくさん使って学びました。

29日（水）の夕方には吉野の放課後子ども教室のみなさんも一緒に、「点穴」（てんあな）を作りました。

27日（月）・28日（火）は地域おこし協力隊の研修として高木の剪定をしました。この時出た枝も、点穴作業などに使用しています。

## 空気と水の流れを改善するために、やったこと

吉野川側の植え込み

場所

入って右の植え込み

地面に空気が入るよう  
「点穴」づくり



土が固い  
～！



枝や炭を  
入れて

てんあな  
完成！

「風の剪定」で  
風通し改善



枝葉

風通しよくなるように～。ノコガマ、ノコギリなどで、たいたりしながら。

むき出しの地面を  
枝葉や炭でカバー



厚すぎても風を通さないので注意しつつ…



ウラ  
面へ

# 公園のこれまでと、これからのイメージ



間延びしたり詰まりすぎた枝葉。太い枝を切ったことや、根の酸素不足が要因。

穴を掘ると...



酸素の多い表層に根が集中。



灰色の無酸素の土壌が出現！  
有機ガスのツンとした匂いも。



落ち葉や草がなく、土がむき出し。根が浮き出ている。

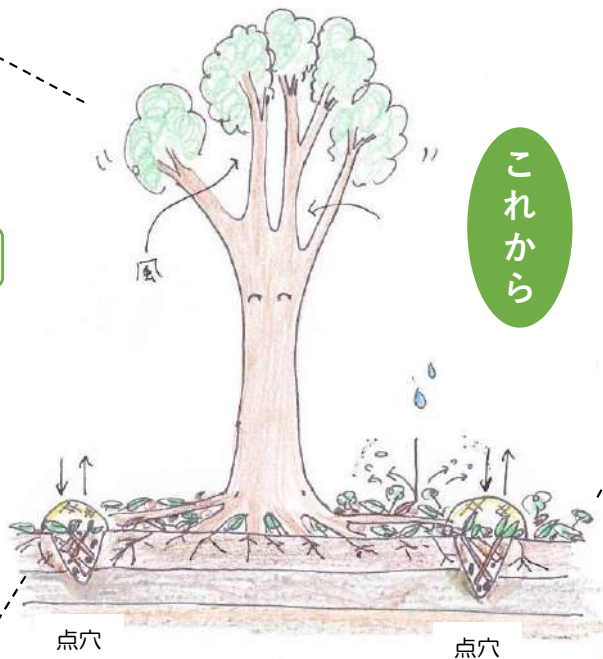


雨水で泥が飛び、木の幹に付着。泥はホコリとなり、移動先で空気を遮断する要因に。雨水で土はさらに固くなる。



「風の剪定」で風通しを良くしながら、新しい枝を育てる。

点穴の中身



点穴の中にある枝葉や炭によって、土の中の酸素が増える。少しずつ、根は深く伸びるようになる。



グラウンドカバーをすることで、雨水や踏み固めから地面を守る。



剪定した枝で、囲いを作ったよ！



来年も継続します。一緒に見守ってくださいね。

## お問合せ

本山町まちづくり推進課 産業振興班 0887-76-3916

本山町教育委員会 社会教育班 0887-76-2084

R6年9月7日(土)・8日(日)



森林環境譲与税を  
活用した事業です

# 「大地の再生講座」

## @吉野運動公園 実施しました

### 大地の再生講座とは？

土地本来の元気を取り戻すことを目的に、水・空気の流れの改善方法を学ぶ実践型講座。全国各地でこの活動が広がっています。行政主催の講座としては、四国ではおそらく初めて。



昨年度からスタートした取り組みで、今回は2回目です。講師は、大地園芸代表、大地の再生士の兼田汰知(かねだたいち)さん。  
「その時、その人が出来ることをする」ということを大切にしながら、2日間で子どもから大人まで約30名が参加。和気あいあいと作業をしました。

講座の内容・様子ををご紹介します。

### 1日目 誰でもできて、効果アリ。ちょっと変わった草刈り・剪定！

この方法を繰り返すと、草木がおだやかに成長し、管理が楽になるとか！

#### 風の草刈り



風にゆられた時に、曲がるところでカット。風になびいてちぎれたイメージで

刈る場所

◀講師の兼田さん



◀上記を意識して、かまぼこ型にカット。根元から刈ると、反発するように早く成長してしまう



◀「風の通り道になりそうなところ」を低めに、そのほかは、かまぼこ状に残します

#### 風の剪定



直観的な方法だから初めてでもできる！

枝葉が茂り、風通しが悪くなったツツジ。手でさわり詰まった感じがするところをノコガマやノコギリで叩いたり、枝を抜いたりして、風通しを良くしていきます



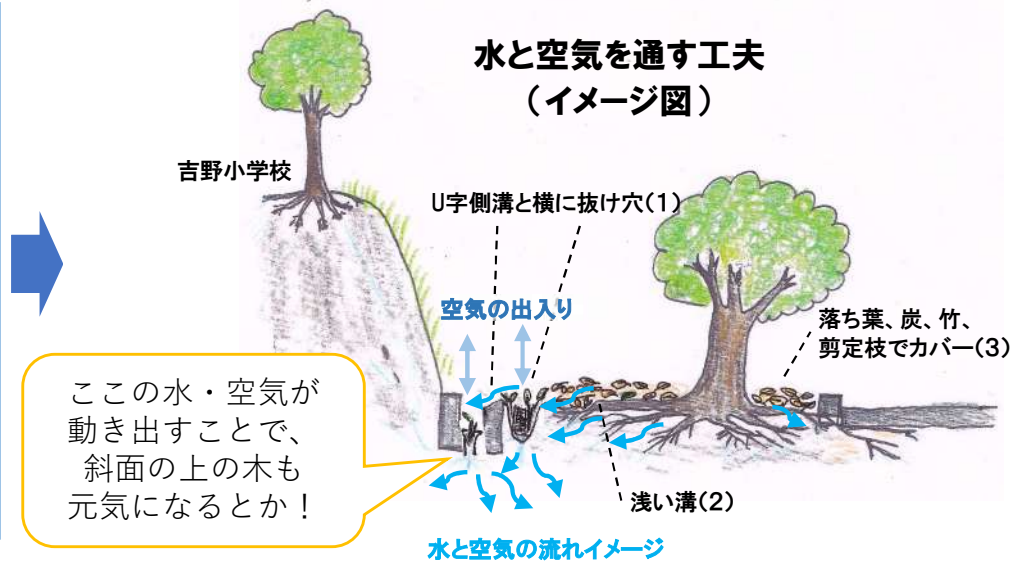
全体的に風・光の通りが良くなりました。ツツジの向こう側が薄っすら見えて、明るい印象に！

## 吉野小学校側の植え込み



土がむき出し 水はけが悪い  
土がカチカチ 酸素不足

昨年度（2023年9月14日）の様子



### 1 空気穴づくり



側溝沿いに一定間隔で、空気穴を作りました。予想以上に固く30cm掘るのも一苦労…！



掘り進めると灰色の土が出現！モワンとしたガスの匂いも。無酸素状態により有機ガスが発生しているとか。木もツライ！



掘った穴に、空気を通すメッシュの筒、竹、剪定枝、炭を入れて完成！ここから少しずつ、土の中に空気が入り込み、周りの環境が好転します

### 2 通気と水浸透を改善するための溝づくり



上の穴に繋げるように、5cm程度の溝を掘り…



溝には、泥を濾しになるよう、炭と剪定枝を据えました。同時に、枝葉が分解される過程で、溝の周りの土が柔らかくなっていきます

### 3 グラウンドカバー



さらに落ち葉、竹チップ、炭、剪定枝でカバーをしました

兼田さんによると、このやり方を続けると、草木が元気になるだけでなく、カビやハチ、ヘビなども減って、人にとっても心地よい空間になるそうです。昨年度の空気穴の周りでは草木が青々としてきています。

変化は急には起きませんが、継続することで、少しずつ、環境が変わっていきます。

## お問合せ

本山町まちづくり推進課 産業振興班 0887-76-3916

本山町教育委員会 社会教育班 0887-76-2084



来年も継続します。見守ってくださいね。

← 前回の様子もぜひご覧ください！



# 大地の再生講座 @吉野運動公園

## 3年目の経過報告です

～令和5年から毎年取り組んできた活動の軌跡と、現地での観察記録をご紹介します～

### 第3回は19名が参加



令和7年9月27日（土）・28日（日）、「大地の再生土」で大地園芸代表の兼田汰知氏を講師に迎え、和気あいあいと開催されました。



**過去の様子はコチラ！**  
今回掲載していない内容が見られます

### 大地の再生とは？

水・空気の流れを改善する土地のお手入れ方法です。  
風の動きにならって草刈りや剪定をしたり、地中に穴を開けたりします。

## 手入れしたところ

R5年  
植え込みに「点穴」(★)作成  
R6・7年 メンテナンス



### ★点穴（てんあな）とは？

木の根の呼吸を促すための手入れ。  
スコップで地面に穴を掘り、枝葉や炭、通気口となる管などを入れます。

R6年  
U字側溝の底に空気穴を作成  
植え込みに「点穴」作成  
R7年 メンテナンス



U字側溝に開けた小さな穴をメンテナンスしているところ



R5・6・7年  
炭・枝葉などでグランドカバー  
R6・7年  
空気と水の動きを改善するため、表層に浅い溝を作成

変化の様子はウラ面へ→



# 変化の様子

## 入って右側の植え込み（吉野小側）

当初、土がむき出しだった地面。  
雨や踏みつけで土が締まるのを防ぐ  
ため、グラウンドカバーをしました。

写真では見えませんが、点穴や表層に  
溝を掘り、土の中に空気や水が通りや  
すくなる工夫をしています。



R5年9月14日

2年後



R7年10月8日

同じ場所で剪定をした1年後、  
順調に葉が増加。健やかな方向に樹木  
が成長している様子がうかがえます。



R6年9月11日（剪定直後）

1年後



R7年10月8日（1年後）

## 入って左奥の植え込み（汗見川側）

当初、固くコケの乗った地面だったと  
ころに、点穴を掘り、グラウンドカバー  
をしたところでは、図①や図②のよう  
な変化が。

草木が根を張れる環境が、少しずつ生  
まれているようです。



R5年9月14日

2年後



R7年10月8日

◀図①

程よい環境が生まれ、点穴の周りに  
草が生えたのかもしれない。



図②▶

点穴を分解すると空気の多  
い隙間に、木の根が伸びて  
きています。



木の細根

点穴の中心に  
入れた管



3回の講座でのべ56人が参加。  
学びを通じて人がつながりあえたことも  
大きな成果です。

自然の変化は、複雑で繊細なもの。  
じっくりと、長い目で見守っていきたいですね。

## お問合せ

本山町まちづくり推進課 産業振興班 0887-76-3916

本山町教育委員会 社会教育班 0887-76-2084